

# ブロッコリーの安定生産と面積拡大の取組

湖北農業農村振興事務所農産普及課

## 【普及活動のねらい・対象】

湖北管内ではブロッコリーを水田野菜の推進品目と位置づけ、関係機関とともに推進を行っています。JA レーク伊吹管内では、18戸で栽培されていますが、土地利用型の認定農業者や集落営農組織でのまとまった面積での導入が増えています。栽培面積も、昨年度より2ha増加し、6haまで拡大しました。一方、排水の悪いほ場も多く、品質向上、安定生産が課題となっています。また、継続的に生産拡大を行うための条件整備も必要となっています。そこで、これらの改善に向けて活動しました。

## 【普及活動の内容】

安定生産に向けての取組としては、排水対策が挙げられます。そのため、確実な対策の実施を目的に栽培研修会、現地巡回で指導した結果、各生産者で個々の状況にあわせて本暗渠の整備や弾丸暗渠などの対策に取り組みされました。また、現地研修会で排水対策の効果についても理解を深めました。併せて、定植後のかん水不足は生育が安定しない要因となっていました。スプリンクラーの導入などで改善されました。

以前はJAでも野菜苗を供給していましたが、苗生産の人員を確保できず、近年では苗の供給が行われていませんでした。しかし、今後、面積拡大を図るためには、安定的な苗の供給体制を整備する必要があります。そこで、JAで「底面給水育苗」の実証を提案しました。

実証は、「緊急的技術課題早期実用化推進普及事業」を活用して、農業技術振興センターとも連携し支援しました。

## 【普及活動の成果】

安定生産の取組では、排水対策等が行われたことにより、収量が向上し地元の長浜市場に安定した出荷が行われました。

育苗の実証では、その結果をJAと検討し、かん水作業に新たな人員を必要とせず苗生産が可能であり、セルトレイ1枚あたりの人件費を含めた経費が1,000円以下であることが評価され、次年度から苗の安定供給に向けた取組が行われることになりました。

今後も、安定生産や条件整備を支援する体制が定着するよう支援を行っていきます。



市場での出荷規格統一会



底面給水育苗の実証